

くらしの中に図書館を —市民に役立ち、共に歩む図書館— 図書館基本計画（案）

資料編

平成20年4月

日野市教育部図書館

目 次

資料 1	日野市立図書館の概要（本文のみ）	1
資料 2	日野市立図書館の概要（図表）	7
資料 3	利用者アンケート調査結果	24

資料 1 日野市立図書館の概要

1. 日野市の現状

(1) 地勢、気象

- ・ 都心から西へ約 35 km、多摩川と浅川の合流部に位置する。
- ・ 日野市の地形は、大きく多摩川・浅川の河川敷と氾濫原、日野台地、多摩丘陵の一部の 3 つに分かれる。浅川右岸は多摩丘陵と浅川左岸の台地との境界にある 2 段の段丘崖は日野の緑を印象づけ、まちの構造を際だたせている。多摩川と浅川に挟まれた沖積低地には総延長 180km に及ぶ用水が巡り、日野の原風景でもある水田の残る農のある風景を支えている。
- ・ 1 年を通して比較的温暖で過ごしやすい気候。都心に比べて冬で 2 ～ 3 度気温が低く、夏の最高気温は反対に高いこともある。都心に比べてやや雨量が多い。

(2) まちの沿革

- ・ 江戸幕府による甲州街道整備に伴い、日野宿が置かれた。
- ・ 幕末に結成された新選組に当地出身の土方歳三、井上源三郎が参加。
- ・ 明治元年（1868 年）に日野の村々は神奈川県の管轄となる。明治 26 年（1893 年）町制施行と同時に東京府の管轄下となる。昭和 33 年（1958 年）日野町と七生村と合併の後、昭和 38 年（1963 年）市制施行により日野市が誕生する。
- ・ 昭和初期、企業誘致により日野五社（現存 4 社）の他、電機・機械メーカーが進出し、製造業を中心とする企業が立地した。
- ・ 立川、八王子、聖蹟桜ヶ丘などの商業集積地に近いため、駅や幹線道路沿道の商業地は生活用品主体の業種構成となっている。
- ・ 川辺堀之内地区等の水稻栽培、東光寺や平山地区の露地野菜づくりの他、多摩川梨、ブルーベリー、リンゴなどが栽培されている。小学校の給食に地場野菜を利用し、食育と関連づけるなど農あるまちづくりを進めている。
- ・ JR 中央線、京王線及び多摩都市モノレールが通る。多摩丘陵部と西平山地区の一部を除き、計 12 ある鉄道駅は市街地を概ね徒歩圏内に収めている。市内の主要駅は路線バスで結ばれている。市立病院などの公共施設への足となるコミュニティバス、多摩丘陵部と駅等をつなぐ丘陵部タクシー（かわせみ号）により公共交通網が補完されている。
- ・ 江戸時代よりの大動脈である甲州街道（国道 20 号）に加え、国道 20 号バイパス（日野バイパス）が完成した。

(3) 日野の人々

- ・ 平成 19 年（2007 年）3 月末現在、173,822 人（外国人登録 2,396 人含む）、76,198 世帯となっている。自然減少より転入超過がわずかに勝っており、人口は微増しているものの、人口のピークを迎える時期は近いと考えられる。平成 18 年（2006 年）の高齢化

率は 17.9%で、平成 27 年(2015 年)には 23.8%、平成 42 年(2030 年)には 25.6% に達すると予測される。14 歳以下の年少人口は、今後減少傾向を強めていく。

- ・ 市内に住む勤労者の勤務先は、23 区、多摩地域、日野市内の順に多い。市内鉄道駅から都心地域までの通勤時間はおよそ 1 時間である。

(4) まちづくり

- ・ 日野の市街地は土地区画整理事業による基盤整備が積極的に行われている。豊田南地区他数地区が現在施工中である。日野、豊田及び高幡不動の 3 つの拠点地域の整備が順々に進められている。高幡不動駅及び南口周辺の整備が完了に向かっている。豊田駅及び北口及び南口周辺の整備はこれから重要な時期に入る。日野駅周辺は、将来構想として、日野宿の再生をテーマとするまちづくりがイメージされている。

2. 図書館事業の概要

(1) 概要

- ・ 昭和 40 年(1965 年)に図書館事業を開始して以来、「市民の図書館」を目標に、サービス網を整備してきた。現在中央図書館、7 分館(市政図書室を含む)、移動図書館車 1 台、職員数 42 (うち司書 29 名)で事業を行っている。いずれの施設も老朽化と施設規模の不足が問題となっている。特に慢性的な収蔵庫不足は深刻である。
- ・ 中央図書館、高幡図書館、日野図書館、多摩平図書館、百草図書館は月曜日を除く平日 10:00 ~ 19:00、土日祝日の 10:00 ~ 17:00 まで開館している。市政図書室は本庁舎に合わせて日曜・祝日を休館としている。百草台児童図書館は、月・水・土の午後のみ開館としている(平成 20 年(2008 年)2 月から休館)。平山図書館は現在建替え中である。
- ・ 国立国会図書館、東京都立図書館、及び多摩市等の近隣市の図書館との相互協力関係を築いている。市内大学図書館との相互協力関係の構築を進めている。学校図書館との蔵書情報のネットワーク化の準備を進めている。なお、東京都立図書館の方針が「一点永久保存」から「現有書庫容量を前提とする」に変更されたことに加え、多摩地域市町村立図書館全体の収蔵能力が限界に達しているため、多摩地域での資料保存のあり方が課題となっている。

(2) サービス提供状況

図書資料収集と保存

- ・ 蔵書冊数は現在約 70 万冊余りでなお増加しているものの、収蔵能力の限界を迎え、横ばいになりつつある。各館の書庫を最大限活用するため、分野別の収蔵を行っている。図書館施設だけで書庫を確保することは困難で、一部廃校などの他部署の施設の利用を検討している。
- ・ 図書費は平成 3 年度(1991 年度)の約 9000 万円余り/年をピークに年々減少し、現在およそ 5500 万円/年となっている。受け入れ冊数は図書費に比例する。平成 2 年度(1990 年度)の約 7 万冊/年をピークにやや減少し、現在およそ 5 万冊/

年となっている。複本数を絞りタイトル数を確保するよう努力している。一方でリクエスト件数も増大しているため、「待ち時間が長い」と利用者からの苦情も出ている。

- ・ 除籍数は、5万冊/年程度でほぼ一定している。資料の廃棄基準を明確にし、保存スペースを確保し、本来保存すべき資料を廃棄してしまわないようにする必要がある。

貸出とリクエスト

- ・ 貸出件数は、昭和61年度(1986年度)から減少していたが、平成9年度(1997年度)からは増加に転じ、平成16年度(2004年度)からは、多摩平図書館、日野図書館のリニューアルにより順調に推移している。
- ・ リクエストは、平成14年(2002年)からのインターネットによる予約受付開始で、急激に増加し、6万件から、平成18年度(2006年度)には、31万件となっている。そのため、複本数の関係からも「待ち時間が長い」と利用者からの苦情も出ている。
- ・ 都立図書館の再編に伴い協力貸出サービスが縮小され、多摩地域や区の図書館との相互貸借が借用、貸出ともに増加している。

レファレンスサービス

- ・ レファレンスサービスの専用カウンターを設けているのは、中央図書館だけだが、その他の分館でも日々レファレンスサービスを行っている。それぞれの窓口がサービスの最前線である。情報・資料が中央館に集中するため、分館職員との密な連携・コミュニケーションが必要である。
- ・ 現在のレファレンス件数は、日誌に記録されたものを数えているが、2007年度より、全館を対象に「利用者が資料を手取るために必要な質問は全て数える」という基準でカウントを始める。なお、レファレンスサービスは件数のみで評価できるものではなく、適切な資料構成(選書)や配架の工夫もレファレンス・サービスと考える。
- ・ レファレンスに寄せられる質問は複雑化・高度化している。国会図書館・専門図書館へ協力レファレンスを依頼することが増えている。「この本はどこにあるか?」という所蔵調査の質問が激減するなど、インターネット普及による影響が大きい。
- ・ 印刷物での発行を止め、ネット上での公開・商用データベースでの提供に切り替える資料が増えている。利用者用インターネット検索端末の台数増や、商用データベースの契約本数増が必要になっている。
- ・ 質問の高度化・複雑化への対応、資料媒体の変化に対応できるよう、図書館員の能力向上が求められている。これまで以上に、館内での研修にも力を入れる必要がある。
- ・ 地域に関するレファレンスは、他機関を頼ることが難しいため、特に館内の事例研究を積み重ねていく必要がある
- ・ 館内掲示や『図書館報ひろば』において、不定期に「レファレンス室だより」の

掲載を行うなど、PRに力を入れている。

- ・ 日野市に関するレファレンス事例をまとめ、ホームページ上に公開している。事例数をより増やし、日野市に関する一大情報源にすることを目指す。一般的なレファレンス事例については、調査方法・調査資料の移り変わりがあるため、事例ごとに検討し、未永く利用できそうなものを国会図書館レファレンス協同データベースに登録していく。
- ・ 電子申請レファレンスの利用方法が簡便でないため、セキュリティを確保した上でホームページ上からのレファレンス受付について検討している。

児童サービス

- ・ 児童書の蔵書数は全蔵書の約20%を占める。昭和41年度(1966年度)の52.8%をピークに減少するが、平成9年以降ほぼ横ばいとなり現在の水準を維持している。児童書個人向け貸出数は全貸出数の25%(平成18年度(2006年度))にあたる。平成9年度(1997年度)の19.4%以降増加に転じ、平成18年までに貸出数で1.91倍になっている。
- ・ 移動図書館による団体貸出は、保育園、幼稚園、学童クラブに対して行い、43団体に対して125回の巡回で15,943冊の貸出を行っている(平成18年度(2006年度))。
- ・ 定例のおはなし会を中央・高幡・多摩平・百草図書館で行い、その他に「子ども読書の日おはなし会」、「夏休み!おはなし会」、「秋の読書週間おはなし会」を行っている。
- ・ 『子ども読書推進計画』(平成18年(2006年)2月)に基づき、子どもの読書活動が活発になるよう、資料の充実、おはなし会の活発化とともに、子どもへの読み聞かせ方法の講座として「読み聞かせ入門講座」、「高校生向け利用案内」配布、「日野市立図書館読書パスポート」作成、学校図書館との連携を行っている。
- ・ 学校図書館との連携として、平成18年度(2006年度)から、小・中学校図書館へ市立図書館の資料を2週に一回搬送している。
- ・ 市立図書館の紹介として、小学校3年生の各クラス訪問や、求めにより点字授業や図書館施設見学、職場体験を受けている。

障害者サービス

- ・ 図書館利用に障害のある人々へのサービスとして図書館側に障害があるものととらえ、高齢者、心身障害者、学習障害者、在日外国人等を対象に実施している。障害者サービスの対象者は、質的に多様な障害があるため、数値化しにくい実情がある。
- ・ 対面朗読、点訳・音訳図書、宅配や郵便による資料貸出、DAISY図書対応、障害者へのPC利用指導、広報活動、ボランティアによる宅配を行っている。病院施設への貸出(七生病院は実施済み)、PRの充実について検討している。障害者サービスの充実については予算と人材面での制約が大きい。

多文化サービス

- ・ 市内外国人登録者の国籍別分布は多い順に中国、韓国及び朝鮮、フィリピンであるが、所蔵言語はほぼ英語に偏っている。また所蔵分野は市民からの要望の多い児童書の絵本に集中している。

高齢者サービス

- ・ 年齢を重ねても、読書を楽しみ続けられるよう、大活字本の充実、書架の配置と椅子などの設置に配慮が必要となっている。高齢者の居場所としての要望が増えているが、いずれの図書館も狭いため、スペースを確保することが難しい。

地域・行政資料サービス

- ・ 日野市立図書館は、日野市に関するあらゆる資料・情報の収集と提供、永久保存について、最終的な責任を持つ。
- ・ 地域・行政資料の専門図書館として市役所庁舎内に市政図書室を、日野市に関する資料室として中央図書館内に市民資料室、分館の日野図書館に新選組・甲州道中(甲州街道)・日野宿の資料コーナーを設置して、資料の収集と提供を行っている。平山図書館も改築を機に「平山季重」関連資料の重点収集を開始する。
- ・ 日野市の行政資料は、市政図書室と中央図書館の市民資料室を中心に提供してきたが、市民に手軽に利用してもらえるように分館にも拡大し、日野市の予算書、決算書、計画書、報告書など主要な資料を各館で所蔵し、貸出も行っている。日野市が策定する各分野の計画は、「素案」や「中間報告」の段階で市民に公表し意見を求めている(パブリックコメント募集)が、その公開窓口として図書館各館が定着してきている。
- ・ 市政図書室では、日野市に関する資料の収集にとどまらず、日野市民に直接関わってくる政府の政策や東京都の施策、日野市の行政サービスの向上に参考になる他の自治体の先進的な施策の事例などを積極的に収集し提供している。また、日野市の行政サービスを客観的に把握するための比較資料として、近隣自治体(多摩地域)の予算書・決算書・計画書・事務報告書・統計書なども網羅的に収集している。これらの資料は日野市民だけでなく、他の自治体の住民が来館して利用することも多い。
- ・ 市政図書室に寄せられるレファレンスの件数は毎年 2000 件前後で推移していたが、平成 16 年度 2659 件、平成 17 年度 3134 件、平成 18 年度 2870 件と増加している。日野市に関する質問が全体の 3 分の 2 を占めている。市民の利用は歴史資料、行政資料ともに増加している。
- ・ 市の職員の国政や地方自治に関する情報収集を支援するために、新聞記事の切り抜き、地方自治関係雑誌記事を紹介する「市政調査月報」(月刊)を作成し各課に配布し、官報・判例情報なども提供している。
- ・ 課題として、日野市刊行物を網羅的に収集するために「登録・納本制度」の確立、保存書庫の整備、市民著作の収集率向上と「日野市関係人物情報リスト」の作成、

日野市関係新聞記事の索引データベース化とホームページでの提供がある。利用の多い行政分野の新聞記事情報については、商用データベースの充実が急務である。

視聴覚資料

- ・ 多摩平図書館で集中管理している。ＣＤの貸出および予約が多い。予算の制約により、購入点数は年間 49 タイトル（平成 18 年、ＣＤのみ）とごくわずかとなっている。
- ・ ＣＤの受入に際して、データの登録に多大な手間が生じている。視聴覚資料用目録規則が未整備で、登録するデータが統一できない状況がある。登録にかかる人材の不足も制約のひとつになっている。視聴覚資料ではリクエストに応じることができない状況があり、利用者の不満も大きい。予算の制約がある場合、収集分野の絞り込みを行っていく必要がある。

電子情報サービス

- ・ インターネット上のサービスとホームページによる情報提供を行っている。
- ・ インターネット上のサービスでは、利用案内、蔵書検索、予約受付・予約照会・貸出照会、電子申請によるリクエスト受付・レファレンス受付等を実施している。
- ・ ホームページは図書館員が運営・管理を行い、図書館活動にかかる各種情報の提供を行っている。ホームページへの記事掲載は図書館の広報活動のひとつとして、コンテンツは情報提供活動のひとつとして位置づけている。

(3) 図書館協議会

- ・ 図書館法に基づく図書館協議会を昭和 40 年（1965 年）に設置し、施設計画、サービス計画、図書館運営の重要事項について協議している。
- ・ 最近の答申

◇ 『新しいランドマークをめざして—日野市立図書館の今後のあり方』

平成 14 年（2002 年）3 月

◇ 『日野市立図書館におけるボランティアのあり方 - 日野市立図書館協議会報告』

平成 16 年（2004 年）2 月

資料 2 日野市立図書館の概要（図表）

図書館のあゆみ

- 1 図書館配置図

- 2 施設概要

蔵書数

経費

人口・登録者数

個人貸出数

予約・リクエスト受付件数（図書・雑誌・視聴覚）

相互貸借件数

予約ベスト 3 0

レファレンス件数

学校貸出と団体貸出

子ども行事開催状況

おはなし会開催状況

障害者サービス実績

日野市の身体障害者手帳及び愛の手帳所持者数

外国人登録人口

高齢者人口

C D とビデオの蔵書点数・貸出点数

図書館のあゆみ

1965(昭和40)年

- 6月 『日野市立図書館設置条例』公布
- 7月 市立集会場小会議室に事務所をおく
前川恒雄、初代図書館長に就任
- 9月 事務所を七生支所内に移す
移動図書館によるサービス開始(37駐車場)
- 10月 『日野市立図書館協議会設置条例』公布

1966(昭和41)年

- 3月 学校への配本開始
- 6月 高幡図書館開館
- 8月 多摩平児童図書館開館
- 9月 移動図書館2号車サービス開始(55駐車場)
- 10月 事務所を多摩平支所内に移す

1967(昭和42)年

- 1月 『新しい本』(成人図書)創刊
- 3月 視聴覚ライブラリー発足
『業務報告 昭和40・41年度』刊行
『あたらしい本』(児童図書)創刊
- 7月 福祉センター図書館開館
- 8月 貸出文庫(団体貸出)開始

1968(昭和43)年

- 5月 『第1回児童奉仕員任命式』開催
- 10月 『図書館友の会発会式』開催

1969(昭和44)年

- 7月 社会教育センター図書館開館

1971(昭和46)年

- 4月 平山児童図書館開館
多摩平児童図書館新館開館

1972(昭和47)年

- 4月 百草台児童図書館開館
『日野市の図書館設置計画に関する
調査研究 1972』刊行

1973(昭和48)年

- 4月 中央図書館開館
レコード貸出開始
- 5月 図書館報『ひろば』創刊
- 10月 朗読サービス開始

1974(昭和49)年

- 3月 おはなし会スタート(1976年12月で一時休止)
- 4月 『日野市立図書館コピーサービス実施要綱』
制定
砂川雄一、第二代図書館長に就任

1975(昭和50)年

- 7月 『市政調査月報』創刊

1977(昭和52)年

- 1月 第1期電算システム運用開始
(リコー R1COM3200)
- 4月 平山図書館開館(旧平山児童図書館)
- 12月 市政図書室開館

1978(昭和53)年

- 3月 おはなし会再開
- 10月 平山図書館増築して開館
- 11月 『資料の広場』創刊

1979(昭和54)年

- 4月 市の有償刊行物頒布開始(市政図書室)
- 5月 『日野市立図書館登録者に関する調査』刊行
- 12月 『日野郷土かるた』刊行

1980(昭和55)年

- 3月 映画『図書館とこどもたち』完成(制作協力)
- 5月 高幡図書館新館開館
日野図書館開館(旧福祉センター図書館)
- 10月 おはなし会スタート(高幡図書館)

1981(昭和56)年

- 6月 カセット・テープ貸出開始
- 8月 『児童図書分類表』作成

1982(昭和57)年

- 1月 第2期電算システム運用開始
(NEC ACOSシステム250モデル40)
- 3月 マイクロフィルム(新聞地方版)購入開始
- 4月 機械警備開始
『地域・行政資料分類表』作成

1983(昭和58)年

- 9月 『業務報告 昭和40・41年度復刻版』刊行

1984(昭和59)年

- 3月 『ババールから10年
—子どもの本を読む会のあゆみ—』刊行
- 9月 サウスフィールド市立図書館と友好提携
- 11月 雑誌のリクエスト受付開始

1985(昭和60)年

- 4月 『おはなしかるた』刊行
- 5月 小学校新1年生への図書館ガイダンス開始
- 6月 高幡図書館、第1回日本図書館協会建築賞受賞
- 10月 第1回大人のためのおはなし会開催
(中央・高幡図書館)
- 11月 『日野市立図書館の20年 年表稿』刊行
『図書館20年の歩み展』開催
(中央・高幡図書館)
イラストマップ『日野市絵図』刊行

1986(昭和61)年

- 3月 『日野市立図書館の発展計画のための
調査・研究 1985』刊行

1987(昭和62)年

- 1月 第3期電算システム運用開始
(NEC ACOSシステム410)
- 2月 『子どもの本に魅せられて
—やまんば読書会の記録—』刊行
- 5月 斉藤隆夫、第三代図書館長に就任
都立多摩図書館協力車運行開始(毎週火曜日)
- 7月 土曜日開館時間延長
(中央・高幡・日野図書館、
午後5時まで開館)

1988(昭和63)年

- 3月 集密書庫設置
- 9月 第1期障害者サービス用パソコン・システム稼働

1989(平成元)年

- 5月 『おはなしかるた』改訂版作成
- 9月 METLICS使用試行(翌年6月から正式導入)

1990(平成2)年

- 5月 日野・平山図書館、機械警備開始
- 10月 アスベスト撤去工事
- 11月 貸出フロア全面禁煙実施
(中央・高幡・日野・平山図書館)
百草図書館開館

1991(平成3)年

- 4月 委託搬送業務開始
- 6月 見計らい図書制度導入
- 7月 図書館改修工事

1992(平成4)年

- 1月 第4期電算システム運用開始
(NEC ACOSシステム3300)
- 3月 『ひのふるさと歳時記』刊行
- 9月 百草図書館、開館時間変更
- 10月 『資料の広場』再刊
- 12月 「日野市立図書館障害者
サービス実施要綱」制定
「日野市立図書館パソコン点訳システム
利用要綱」制定

1993(平成5)年

- 7月 レファレンス室、キャレル利用を時間制に変更
正面玄関前駐車場設置
- 8月 利用者端末開放(中央・高幡・百草図書館)
- 9月 第2期障害者サービス用パソコン・システム稼働
- 10月 CD貸出開始
財務会計電算化開始
- 11月 「日野市立図書館嘱託員の任用基準」制定

1994(平成6)年

- 4月 「日野市立図書館コピーサービス実施要綱」改正

1995(平成7)年

- 4月 高幡・日野図書館、情報検索システム導入
- 6月 『東京都多摩地区の空襲・戦災の記録
日野市立図書館所蔵リスト』発行
- 10月 開館時間延長(火・木、夜7時まで)
障害者サービス、『国立国会図書館 点字図書・
録音図書全国総合目録』CD-ROM版
使用試行(次年度から正式使用)
- 11月 『日野市立図書館の現状と当面する
諸問題について』刊行

1996(平成8)年

- 5月 『おはなしごろく』刊行
- 8月 リサイクル事業実施
- 9月 改修工事(～11月)

1997(平成9)年

- 4月 第5期電算システム運用開始(丸善 CALIS)
- 6月 小学校ヘリサイクル図書の配布開始
(前年度をもって移動図書館車による
小学校への団体貸出は廃止)
『日野いまむかし - 郷土資料案内』刊行
- 10月 移動図書館車1台体制に(35駐車場)
多摩平児童・百草図書館でおはなし会スタート
(隔月)
- 11月 高幡図書館分館長に加え他の分館にも
分館長職を置く

1998(平成10)年

- 2月 小川幸子、第四代図書館長に就任
- 6月 旧集会室を改修して障害者サービス室設置
新集会室設置
高幡図書館、モノレール工事関連で
玄関付近を改修
- 8月 移動図書館車、不審火で使用不能に
- 9月 第3期障害者サービス用パソコン・システム稼働
- 10月 『新選組 in 日野・新選組図書展
- 日野市立図書館所蔵リスト -』発行
新選組関係図書展(～12月、中央・高幡図書館)
- 12月 移動図書館車新車巡回開始

1999(平成11)年

- 2月 地下駐車場シャッター設置工事
- 7月 図書のオンライン発注開始
- 8月 中央・高幡図書館開架室に日野市ホームページ
閲覧用パソコン開設(市長公室)
- 10月 「日野市立図書館運営規則」の一部改正
(市内通学者への貸出開始、
貸出冊数制限の撤廃)

2000(平成12)年

- 2月 多摩平図書館開館(社会教育センター図書館の
移転・名称変更)
- 4月 「日野市立図書館設置条例」
(館長の有資格条項関係)一部改正
資料の返却館の自由化(CD、カセットを除く)
事務用インターネット開設

2001(平成13)年

- 3月 『「環境にやさしいまち ひの」フェスタ
日野市立図書館所蔵リスト』発行
- 4月 百草台児童図書館開館日変更
『おはなしめいろ』刊行
- 7月 高幡図書館開館時間延長(火・木、夜7時まで)
高幡図書館読書会室利用時間延長
(火・木を夜9時まで)
高幡図書館お話の部屋の一般利用受付開始
- 10月 平山図書館屋根改修工事
- 11月 平山図書館、開館時間延長
(午前10時～午後5時)
- 12月 地域イントラ整備事業による利用者用
インターネット端末設置
地域イントラ整備事業により学校からの
図書館の蔵書検索が可能に

2002(平成14)年

- 3月 図書館協議会、日野市立図書館の
今後のあり方について答申
- 4月 多摩市立図書館との相互利用実施
多摩平児童・多摩平・平山・百草台児童図書館、
土曜日開館実施
- 5月 多摩平児童図書館閉館
- 6月 第6期電算システム運用開始(NEC LICS)
インターネット対応
図書館ホームページ公開
- 10月 インターネット、携帯電話からの予約受付開始
中央図書館集会室・高幡図書館読書会室の
利用者自主開閉化
電話自動応答システムスタート
- 12月 タッチパネル式OPAC使用開始

2003(平成15)年

- 4月 日野市立図書館職員1名と都立中央図書館
職員1名の、1年間の交換研修を実施
小学校を訪問して行う図書館ガイダンスを、
今年度より1年生から3年生に変更
- 8月 『新選組を読む・調べるために』発行

2004(平成16)年

- 1月 『新選組フェスタin日野 新選組を読む・調べる
ために』第2版発行
- 2月 『日野市立図書館におけるボランティアのあり方
-日野市立図書館協議会報告』発行
- 3月 多摩平図書館(多摩平7丁目)、および多摩平
児童図書館、新多摩平図書館(多摩平
2丁目)開設に伴い閉館
- 4月 新多摩平図書館開館
中央・高幡・多摩平図書館、火～金曜日の
夜間開館実施
祝日開館実施(土・日曜日に重なった時は
市政・百草台児童図書館を除く全館、
平日に重なった時は中央・高幡・多摩平
図書館のみ開館)
オンラインデータベース『聞蔵(きくぞう)』及び
『日経テレコン21』を業務用に利用開始
藤沢和男、第五代図書館長に就任
- 5月 多摩平図書館で、おはなし会再開
- 10月 高齢者デイサービス施設にリサイクル資料の
配布開始
- 11月 読み聞かせ入門講座(高幡・多摩平図書館)
日野市子ども読書活動推進計画策定委員会
設置
準備済リクエスト連絡に電子メールを使用開始
セキュリティ確保の為WebサーバにSSLを導入

2005(平成17)年

- 1月 日野図書館改修工事のため臨時休館
- 4月 市政図書室、土曜日開館実施
日野図書館リニューアルオープンに伴い、祝日
開館および火～金曜日の夜間開館実施
(新選組・日野宿関係資料コーナー設置)
- 7月 夏休みジュニアスタッフ実施
- 8月 高齢者への宅配事業を試行開始
- 9月 『図書館要覧』改訂・発行
- 11月 中央・高幡・多摩平・平山図書館、
無線LANサービスの拠点に参加
- 12月 『日野市立図書館年表2005』作成

2006(平成18)年

- 2月 川口文子、第六代図書館長に就任
『日野市子ども読書活動推進計画-
すべてのひのっこを本好きに』策定
- 3月 『日野市について、よくある質問』(レファレンス
事例集)をホームページ上に掲載
電子申請システムによる、
本のリクエストとレファレンスを開始
- 4月 百草図書館、火～金曜日の夜間開館実施
平山、百草図書館、火～金曜日に重なった
祝日の開館実施
日野市立図書館月報『ひろば』(『図書館報
ひろば』と『新しい本』を統合)発行
子どもの読書活動優秀実践図書館として
文部科学大臣表彰
- 5月 学校への資料搬送便開始
- 8月 日野図書館、日野宿こども発見隊開催
- 10月 小澤昭道、第七代図書館長に就任
配達ボランティア・サービス本実施
「高校生のための利用案内」作成
子どもの読書活動推進事業「依田逸男氏
講演会」(生活保健センター)
日野図書館、日野宿発見隊開催
「図書館とこどもたち-日野市立図書館の
あゆみ」展開催(中央・高幡)
図書館基本計画策定委員会スタート
(公募市民委員8名)

-1 図書館配置図（図書館＆ひまわり号駐車場所）

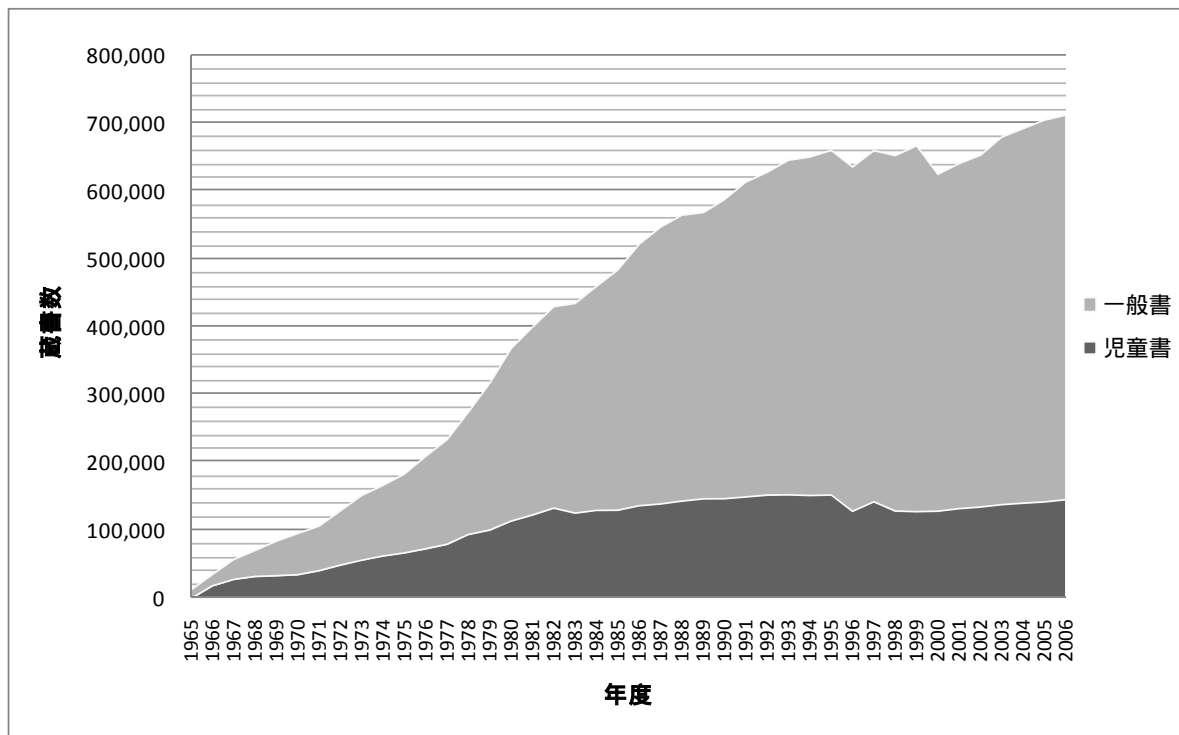


- 2 施設概要

平成19年4月1日現在

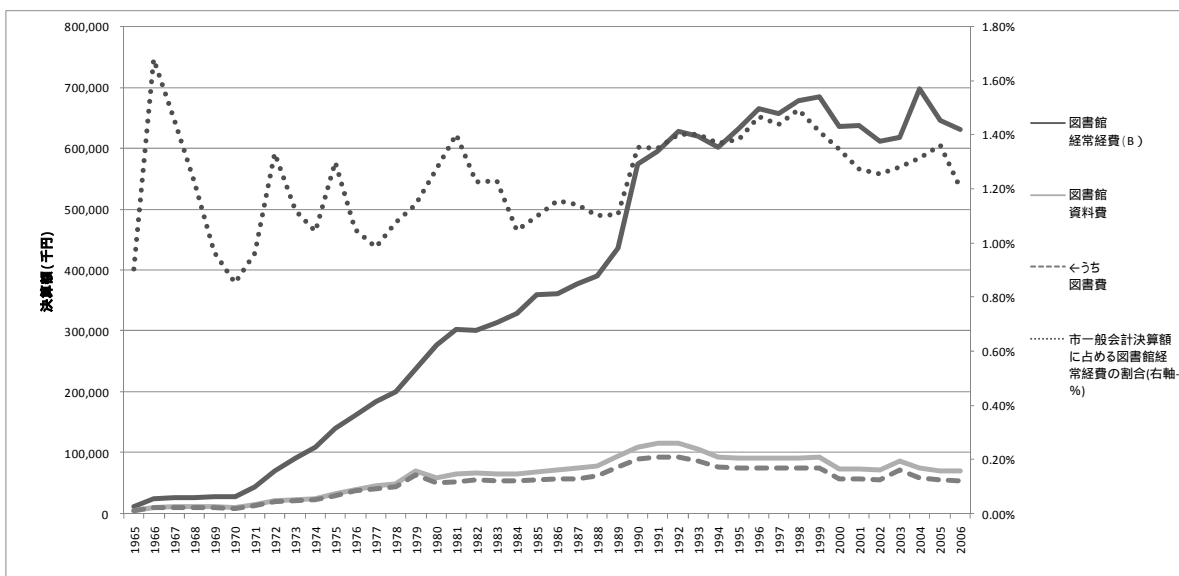
施設の名称	延床面積 (図書館)	建築面積	敷地面積	現館の開館日	所在地	蔵書規模
中 央 図 書 館	2,220㎡ (単独)	900㎡	2,105㎡	昭和48年4月28日	豊田2-49 (586-0584)	231 千冊 ほか、研究分 20 千冊
移 動 図 書 館 (ひ ま わ り 号)	1台 (18駐車場)			昭和40年9月21日	同 上	35 千冊
高 幡 図 書 館	1,358㎡ (単独)	583㎡	1,086㎡	昭和55年5月11日	三沢4-1-12 (591-7322)	90 千冊
日 野 図 書 館	422㎡ (単独)	234㎡	833㎡	昭和55年5月18日	日野本町7-5-14 (584-0467)	46 千冊
多 摩 平 図 書 館	933㎡ (併設)	1,357㎡	2,243㎡	平成16年4月1日	多摩平2-9 (583-2561)	80 千冊
平 山 図 書 館 平成20年4月開館	412㎡ (併設)	812㎡	1,075㎡	平成20年4月5日	平山5-18-2 (591-7772)	50 千冊
百草台児童図書館	61㎡ (併設)			昭和47年4月5日	百草999 (591-7309)	10 千冊
市 政 図 書 室	140㎡ (併設)			昭和52年12月1日	神明1-12-1 (585-1111代)	40 千冊
百 草 図 書 館	759㎡ (併設)			平成2年11月16日	百草204-1 (594-4646)	72 千冊

蔵書数



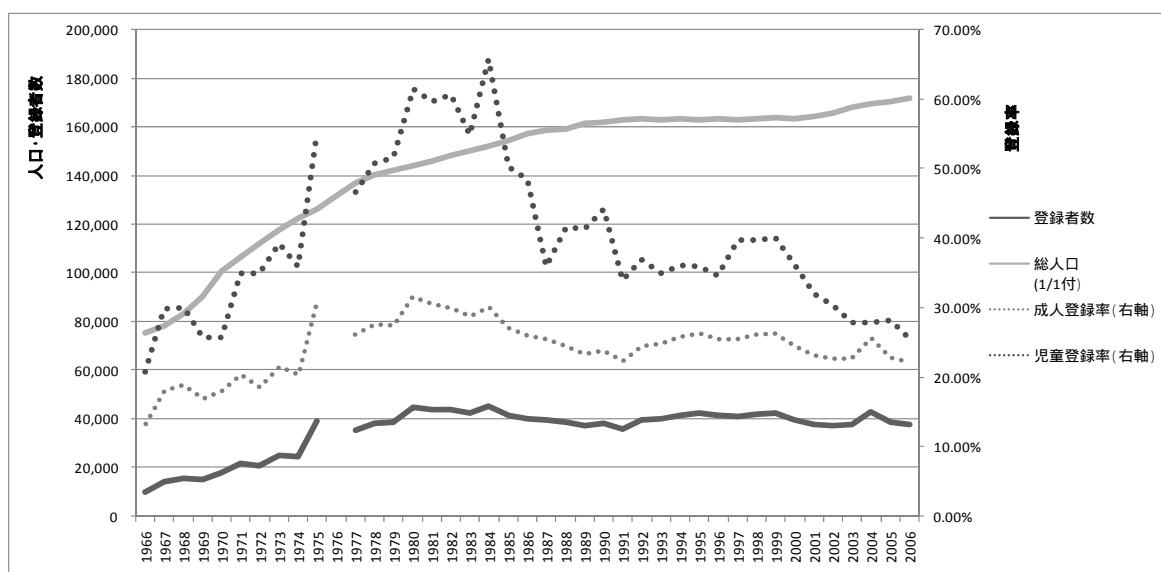
蔵書数 = 受入冊数 - 除籍冊数

経費



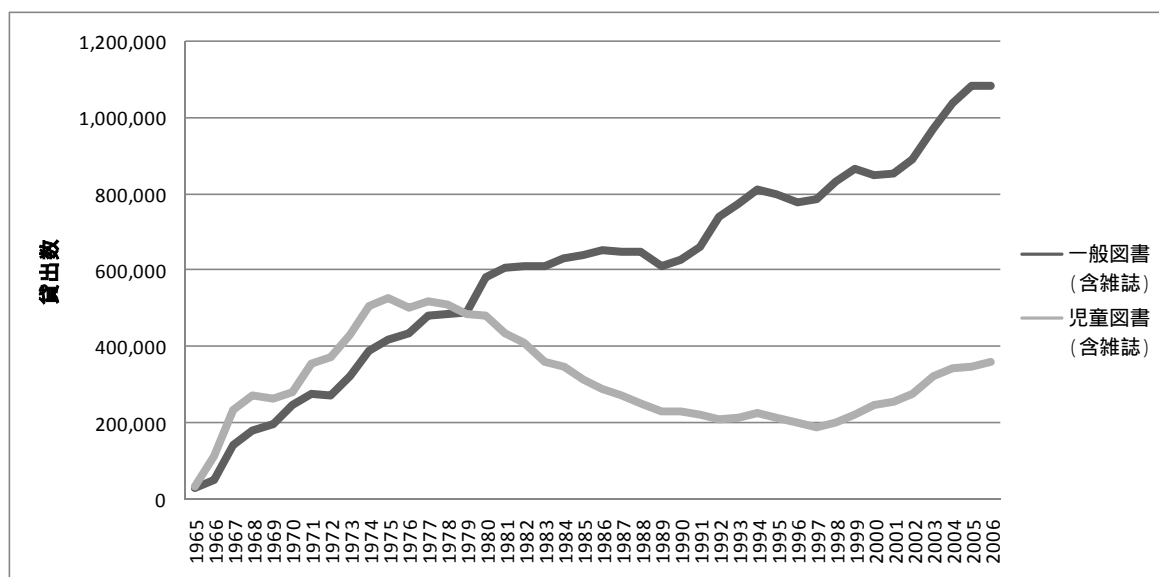
建設費、土地取得費、内装・設備工事費を除く

人口・登録者数

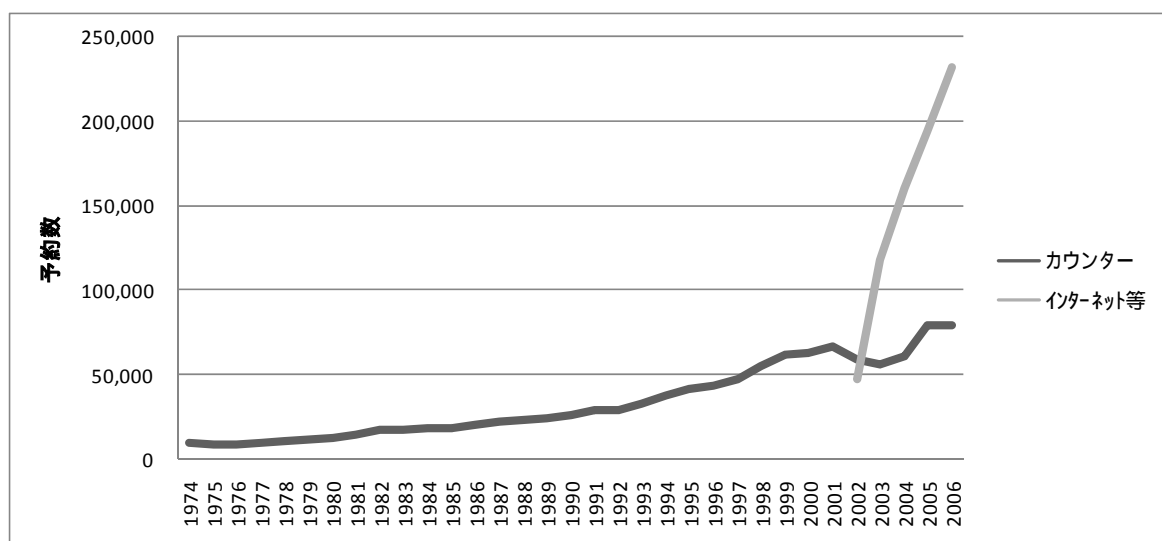


登録率 = 登録者数 / 年度末総人口

個人貸出数



予約・リクエスト受付件数（図書・雑誌・視聴覚）



インターネット等：電話受付、館内 opac、インターネット、電子申請の合計件数

相互貸借件数

（貸出先）

年度		東京都内		区市町村計	他	總計
		市町村立	区立			
平成 13	2001	1,577	53	1,630	2	1,632
14	2002	1,753	137	1,890	2	1,892
15	2003	1,998	451	2,449	24	2,473
16	2004	2,302	317	2,619	53	2,672
17	2005	2,955	270	3,225	7	3,232
18	2006	3,231	317	3,548	24	3,572

（借受先）

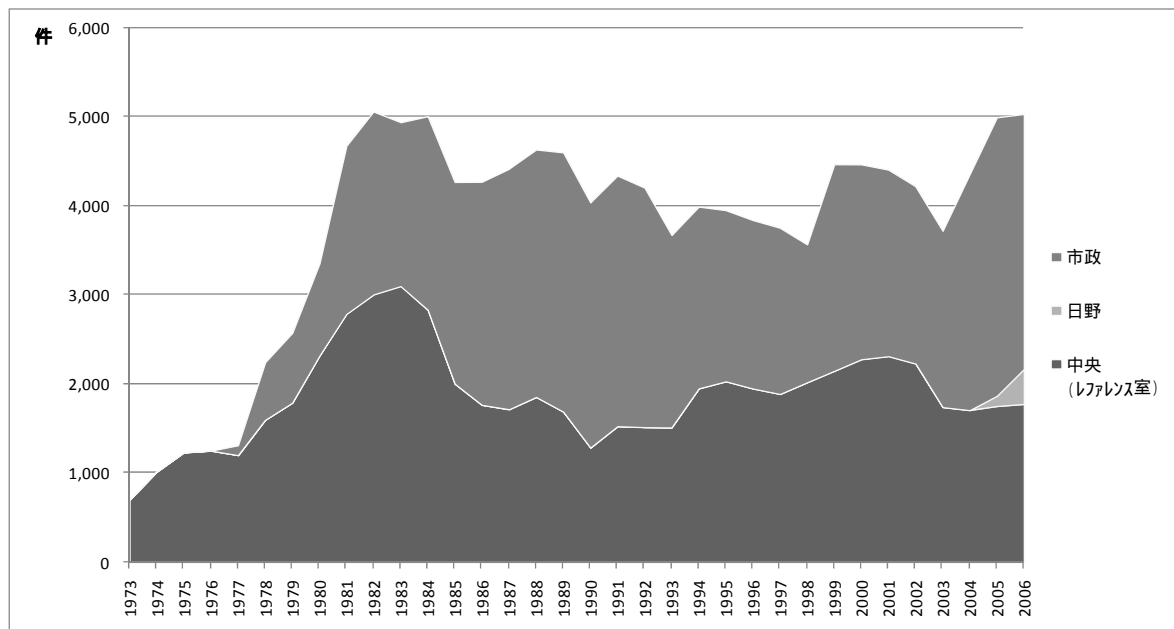
年度		都中央	都多摩			都立計	東京都内		区市町村計	国会	他	總計	
		一般	一般	児童	雑誌		市町村立	区立					
平成	13	2001	1,023	2,010	201	646	3,880	1,373	26	1,399	41	31	5,351
	14	2002	1,453	1,739	376	714	4,282	1,555	61	1,616	76	33	6,007
	15	2003	1,407	1,621	458	749	4,235	1,650	101	1,751	37	24	6,047
	16	2004	1,529	1,536	447	901	4,413	2,004	188	2,192	49	26	6,680
	17	2005	1,681	1,307	450	792	4,230	2,223	230	2,453	48	16	6,747
	18	2006	2,027	1,492	454	1,116	5,089	2,263	282	2,545	42	36	7,712

予約ベスト30

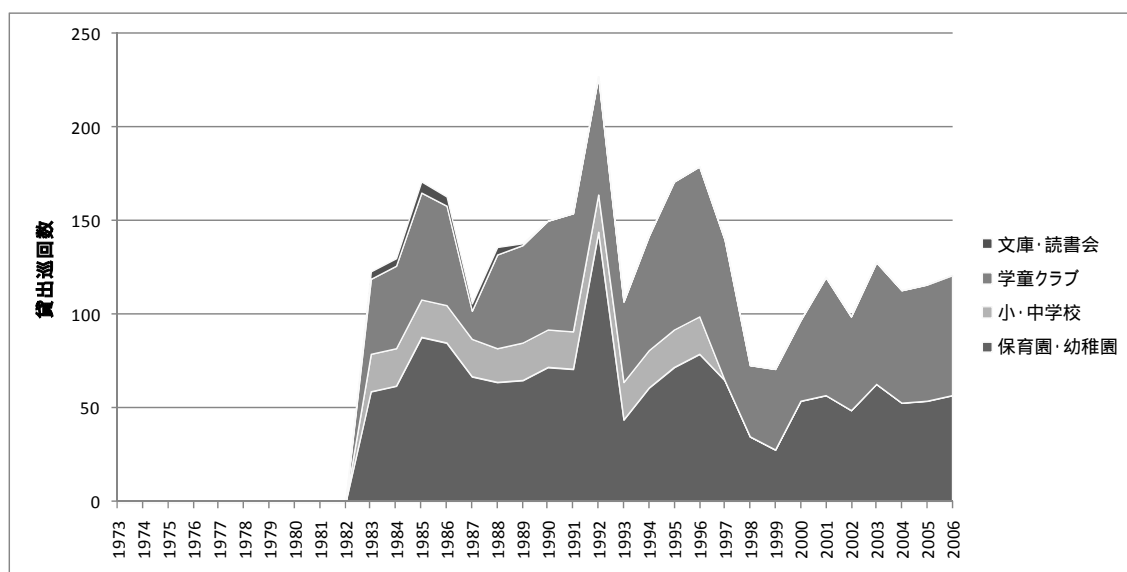
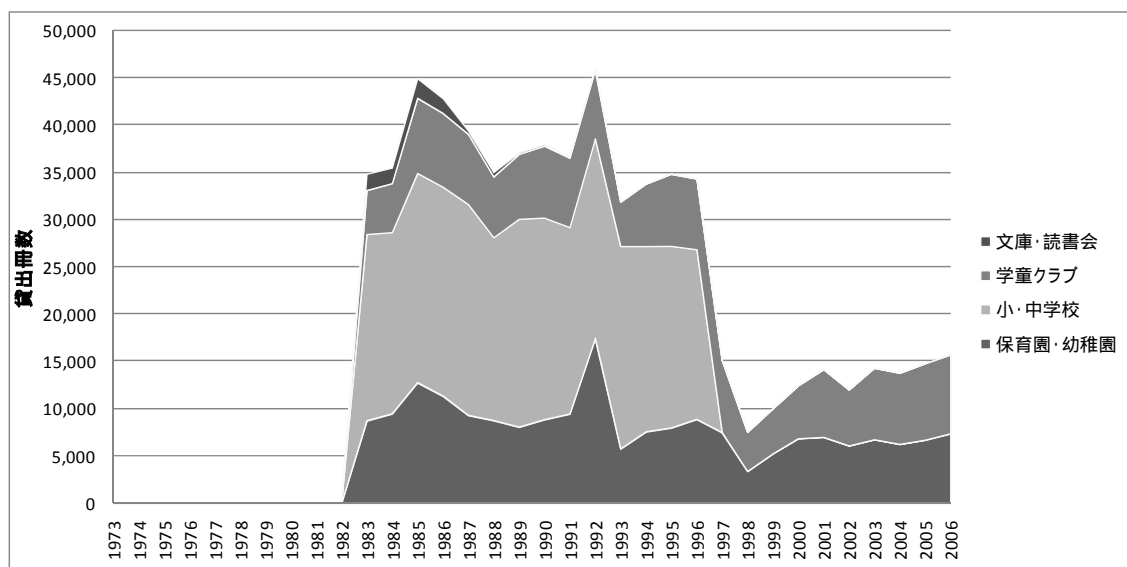
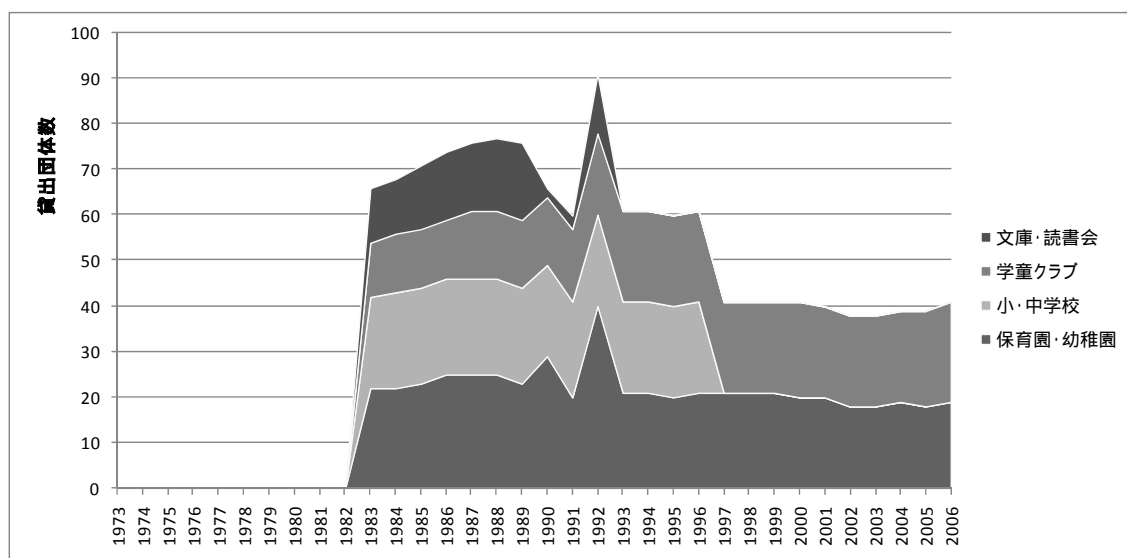
予約日:2004年04月01日 - 2008年03月31日

順位	予約数	書名	著者名	順位	予約数	書名	著者名
1	272	ホームレス中学生	田村裕	16	97	鈍感力	渡辺淳一
2	227	楽園 上	宮部みゆき	17	96	阪急電車	有川浩
3	210	楽園 下	宮部みゆき	18	91	ゴールデンランパー	伊坂幸太郎
4	200	女性の品格	坂東眞理子	19	90	一瞬の風になれ 第1部	佐藤多佳子
5	194	流星の絆	東野圭吾	20	89	お金は銀行に預けるな	勝間和代
6	190	ダイイング・アイ	東野圭吾	21	86	一瞬の風になれ 第2部	佐藤多佳子
7	182	私の男	桜庭一樹	22	82	一瞬の風になれ 第3部	佐藤多佳子
8	180	おひとりさまの老後	上野千鶴子	23	79	悪人	吉田修一
9	139	陰日向に咲く	劇団ひとり	24	78	反転	田中森一
10	109	八日目の蝉	角田光代	25	75	赤朽葉家の伝説	桜庭一樹
11	108	夢をかなえるゾウ	水野敬也	26	74	警官の血 上巻	佐々木譲
11	108	夜明けの街で	東野圭吾	27	73	チーム・バチスタの栄光	海堂尊
13	103	鹿男あをによし	万城目学	28	72	警官の血 下巻	佐々木譲
14	99	スタバではグランデを買え!	吉本佳生	29	71	求めない	加島祥造
15	98	夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	30	67	新世界より 上	貴志祐介

レファレンス件数



学校貸出と団体貸出



子ども行事開催状況

* おたのしみ会

月日	会場	プログラム	参加人数		
			児童	成人	合計
H19.3.1	多摩平図書館	「ペープサート」及び工作	10	3	13
H19.3.7	高幡図書館	同上	54	18	72
H19.3.14	中央図書館	同上	31	15	46
H19.3.28	百草図書館	同上	15	11	26
合計			110	47	157

* 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月日	学校名	月日	学校名
H18.5.11	旭が丘小学校	H18.7.13	平山小学校
H18.5.12	日野第八小学校	H18.11.9	南平小学校
H18.5.12	日野第五小学校	H18.11.24	百草台小学校
H18.5.18	三沢台小学校	H19.1.19	日野第一小学校
H18.5.18	東光寺小学校	H19.2.2	日野第六小学校
H18.6.9	日野第四小学校	H19.2.9	夢が丘小学校
H18.6.9	日野第二小学校	H19.2.22	日野第三小学校
H18.6.22	潤徳小学校	H19.3.8	日野第七小学校
H18.6.23	滝合小学校		
	合計17校		

* 中学生の職業体験学習

行事名	開催日	会場	備考
職業体験	随時	百草台児童図書館・ 市政図書室を除く全館	11校 45人

* 点字授業

点字や点字利用者についての理解を深めるため、講師を派遣している。
(市内小学校 5校)

* ジュニア・スタッフ

夏休みに図書館の仕事を体験したり、図書館ホームページやOPAC(オパック=蔵書検索パソコン)の使い方を学ぶジュニア・スタッフ事業を行っている。
(対象は中学生)

* 施設見学

行事名	開催日	実施館	備考
小・中学校施設見学	随時	百草台児童図書館を 除く全館	10校
保育園・幼稚園来館	随時	〃	4園
学童クラブ・その他来館	随時	〃	3クラブ
その他の団体	随時	〃	2団体

おはなし会開催状況

平成 18 年度実績

会場	開催日	回数	参加人数			小計	大人
			0才～	3才～	小学生		
中央図書館	毎月第2水曜日 子ども読書の日、 夏休み各1回	13	39	52	81	172	90
高幡図書館	毎月第1・3水曜日 子ども読書の日、 夏休み各1回	23	224	274	294	792	302
百草図書館	毎月第4水曜日 秋の読書週間、 夏休み各1回	13	42	44	48	134	67
多摩平図書館	毎月第1・3水曜日 秋の読書週間、 夏休み各1回	23		291	131	603	296
	毎月第2木曜日	10	181				
合計		82	486	661	554	1701	755

- ・ 0～2歳児 午後3時から(多摩平図書館は午前11時から)
- ・ 3歳から 午後3時30分から
- ・ 小学生以上 午後4時から

障害者サービス実績

* 宅配図書数

年度	延べ回数	録音図書 (タイトル数)	点字図書 (タイトル数)	墨字図書 (冊数)	合計
13	49	1,303	251	937	2,491
14	40	1,146	194	1,684	3,024
15	42	1,086	225	1,376	2,687
16	58	1,138	255	1,730	3,123
17	62	1,125	247	1,743	3,115
18	67	1,110	255	1,683	3,048

* 郵送図書数

年度	録音図書 (タイトル数)	点字図書 (タイトル数)	墨字図書 (冊数)	合計
13	865		-	865
14	948		-	948
15	933	25	-	958
16	1,201	35	-	1,236
17	950	46	-	996
18	899	83	-	982

* 来館利用数

年度	録音図書 (タイトル数)	点字図書 (タイトル数)	墨字図書 (冊数)	合計
13	289	23	-	312
14	222	12	-	234
15	419	17	-	436
16	426	16	-	442
17	171	10	-	181
18	152	13		165

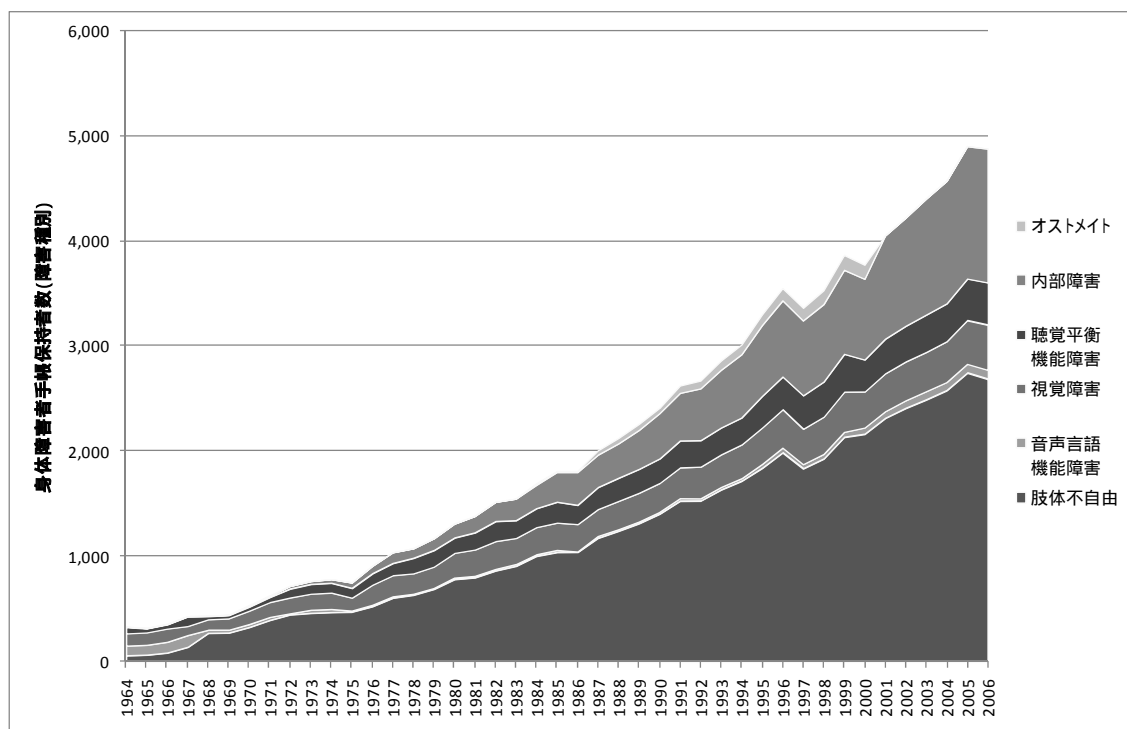
* 資料作成数・対面朗読時間数

年度	録音図書 (タイトル数)	点字図書 (タイトル数)	拡大写本 (枚数)	対面朗読 (延べ時間数)
13	7	11	22	543
14	1	8	180	552
15	11	9	0	521
16	8	9	0	603
17	4	7	0	503
18	3	63	0	460

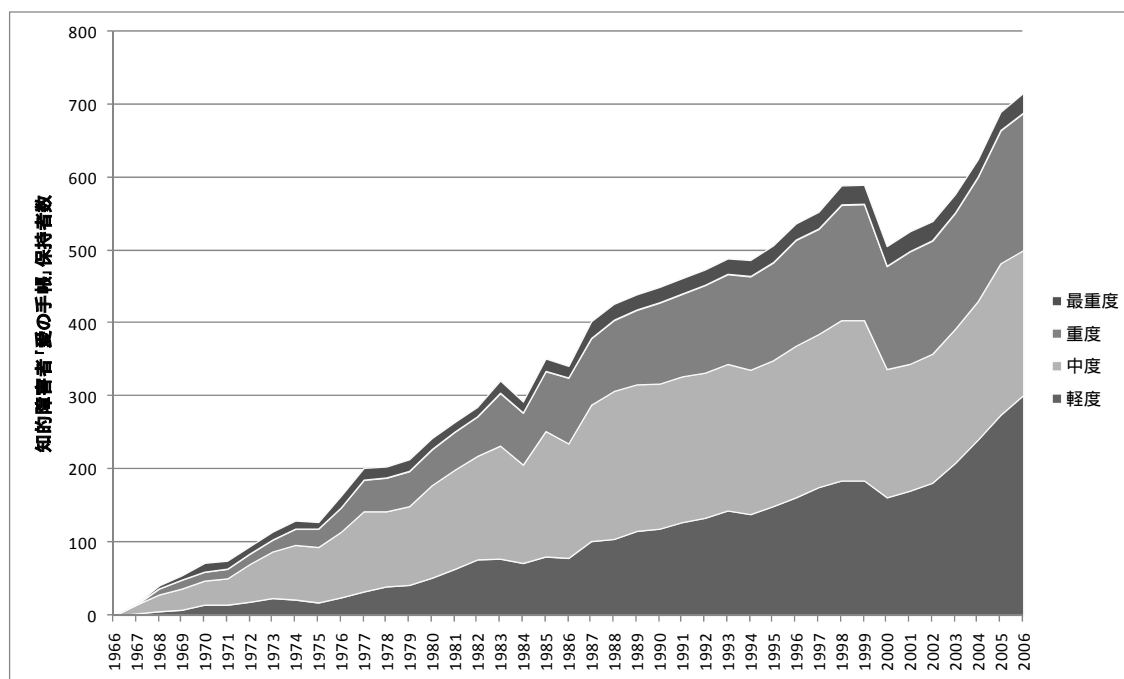
* 図書館間相互貸借

年度	録音図書(タイトル数)		点字図書(タイトル数)	
	借用	貸出	借用	貸出
13	400	111	26	87
14	509	53	15	77
15	621	59	17	47
16	789	36	36	34
17	493	70	22	41
18	577	67	35	31

日野市の身体障害者手帳及び愛の手帳所持者数

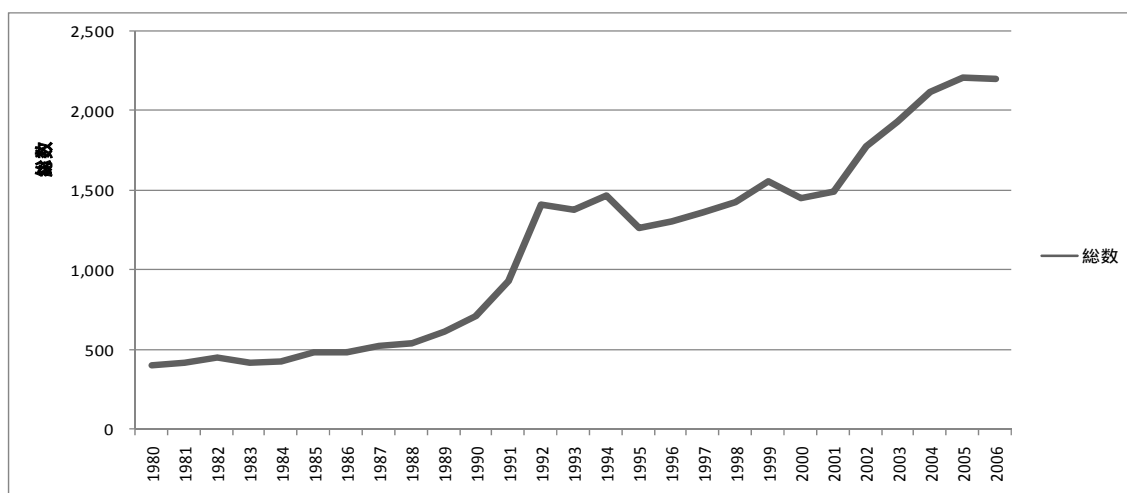


とうけい日野

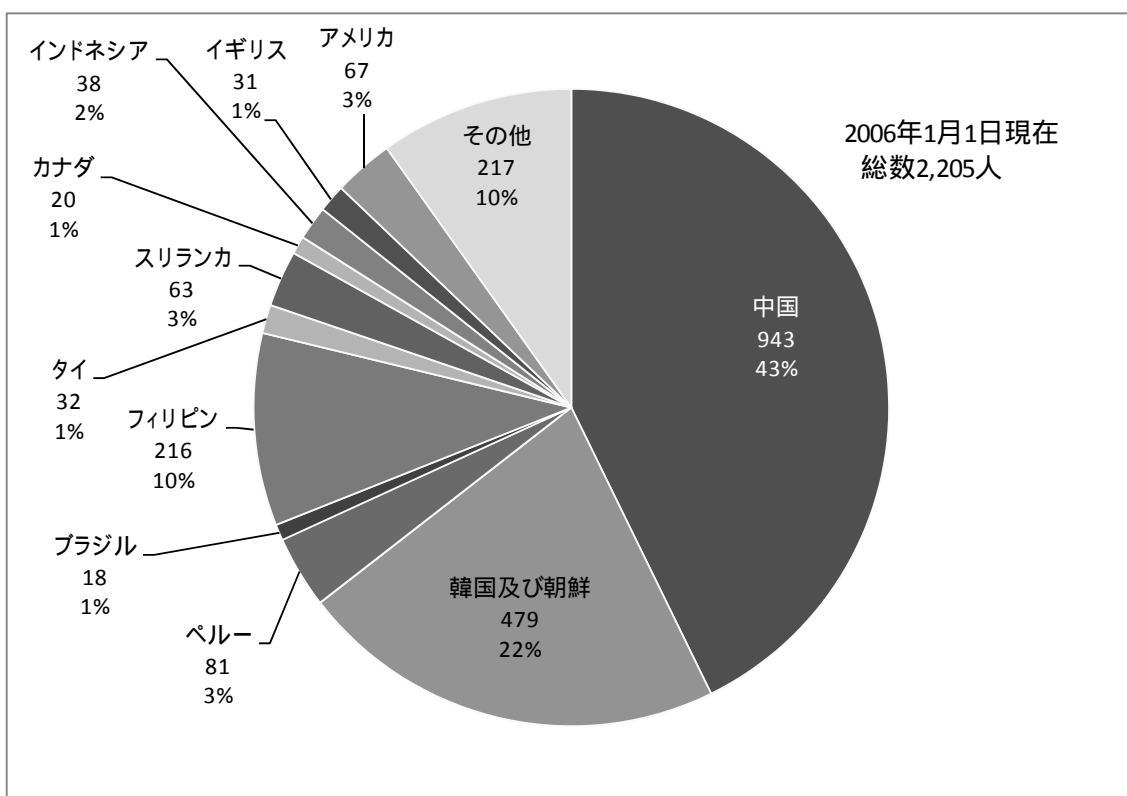


とうけい日野

外国人登録人口

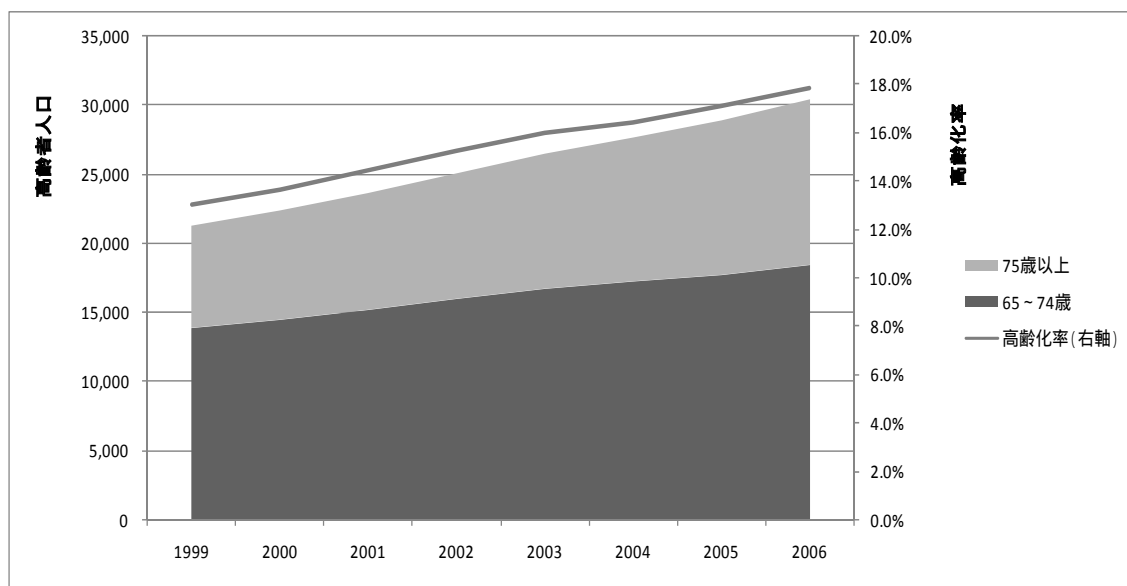


外国人登録原票による



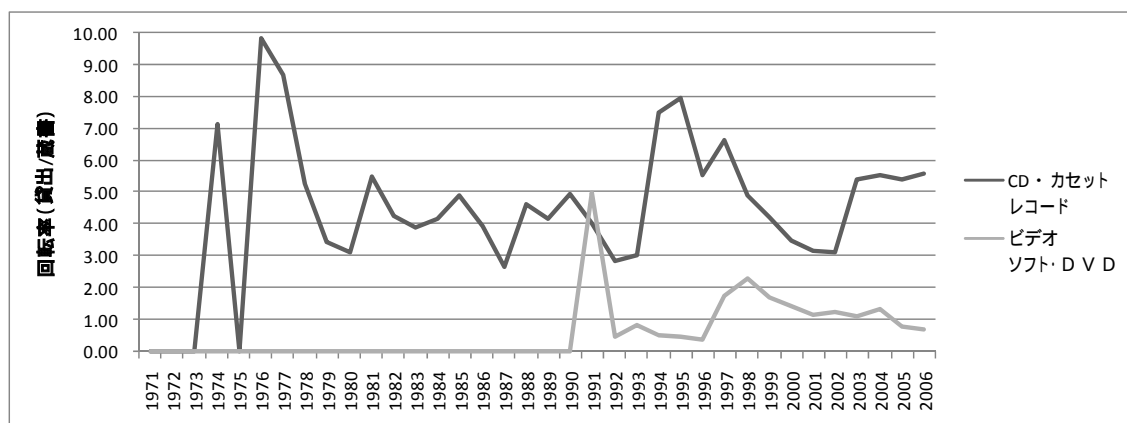
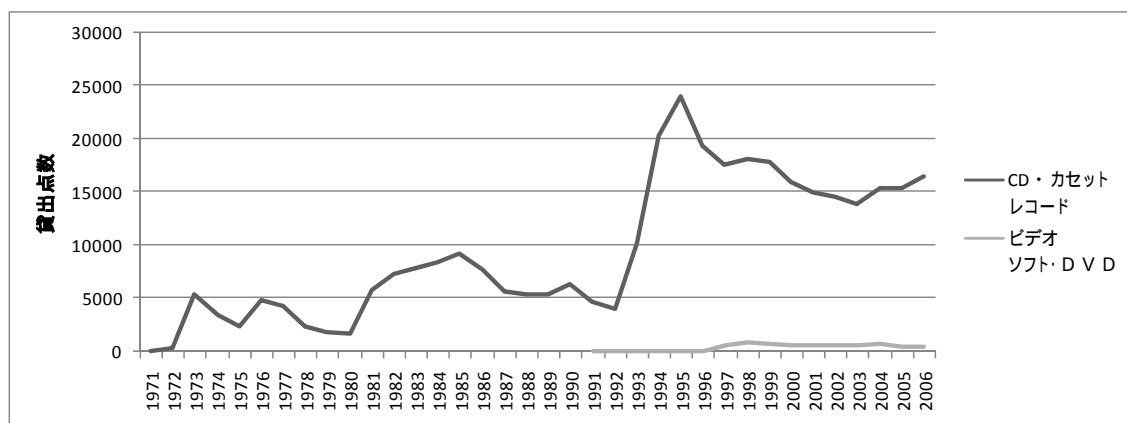
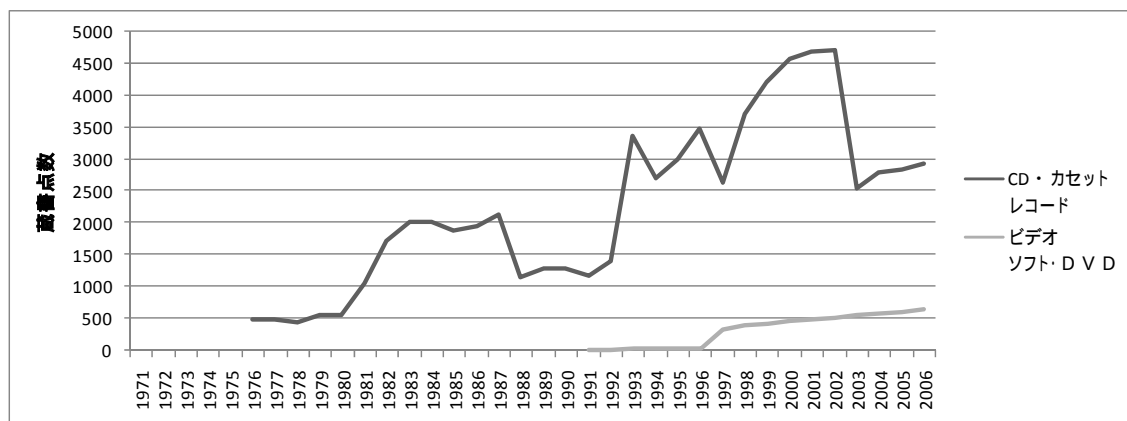
外国人登録原票による

高齡者人口



各年 1 月 1 日 住民基本台帳人口

CDとビデオの蔵書点数・貸出点数と資料回転率



回転率 = 蔵書数 / 貸出数

資料 3 利用者アンケート調査結果

1. 市民アンケート集計結果
2. 来館者アンケート(一般)集計結果
3. 来館者アンケート(小学生以下)集計結果
4. ヤングアダルトアンケート集計結果

**くらしの中に図書館を—市民に役立ち、共に歩む図書館 -
図書館基本計画（案）**

資料編

平成 2 0 年 4 月

編集発行

日野市立中央図書館

〒 1 9 1 - 0 0 5 3

東京都日野市豊田 2 - 4 9

調査委託機関

株式会社 地域計画連合

〒 1 7 0 - 0 0 0 4

東京都豊島区北大塚一丁目 1 9 - 1 2

電話 0 3 - 5 9 7 4 - 2 0 2 1